

# カメラを作って写真を撮ろう (対象：小学生～中学生)



つくったカメラでとった写真

あつがみでかんたんな箱のカメラをつくります。

光があたると色かわる紙を使えば、かなりはっきりとした写真がとれます。

## つくりかた

### 1. 目的・背景など

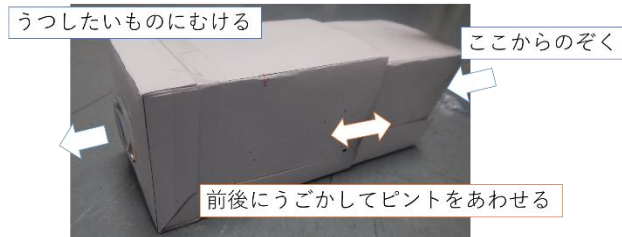
まんながふくらんだ形をしている凸レンズは景色をレンズのうしろがわに絵としてうつし出すはたらきがあり、カメラはそのはたらきを利用しています。

凸レンズと箱、絵をうつすためのうすい紙、光があたると色かわる感光紙があれば、自分でもかんたんにカメラが作れます。

### 2. 方法

- ① 長細い箱を2つ作って、一つの箱の底には凸レンズ、もう一つの箱の底にはうすい紙（トレーシングペーパー）をはりつけます。
  - ② うすい紙をはった方の箱を、レンズをはった箱のうちがわに入れます。
  - ③ うすい紙にはっきりと絵が写るよう、内側の箱を前後させます。
  - ④ うすい紙の部分に感光紙をはってしばらくおけば、紙の上に絵が残ります。
- 感光紙は「コピーアートペーパー（商品名）」。レンズは焦点距離数 cm から十数 cm のものを利用するとよいでしょう。いずれもインターネット通販などで買えます。

### 3. 完成



### 4. 担当教員紹介



星川 圭介  
(環境・社会基盤工学科)